

東京農業大学生物産業学部による 出前講座

平成22年7月30日に網走市の東京農業大学生物産業学部との連携協定を締結してから、毎年町内の小中学生向けの体験学習や、高校生の商品開発への助言を行っています。

今年度も各小中学校、高校で出前講座を行いましたのでご紹介します。

吉岡小学校

テーマ

うどん・そばの原料から考える身近な食糧生産
(11月12日(月) 3・4時間目)

吉岡小学校の講師は、北方圏農学科の笠島 真也助教です。5・6年生を対象に、小麦やうどん、そばの生態の違いについて説明していただきました。

その後、そばと小麦の実を見て違いを確認した後、機械を使って製粉を体験しました。



◀そばと小麦の実に触って違いを確認



◀うまく製粉できたかな？

福島小学校

テーマ

2千年にわたる海流の旅
～海水が地域環境におよぼす影響そして温暖化～
(10月23日(火) 3・4時間目)

福島小学校の講師は、海洋水産学科の西野 康人教授です。6年生を対象に、日本に流れる海流やオホーツク海などに流れ着く流水の説明をしていただきました。

授業の最後は、研究等で流水に穴を開ける時に使われるスクリューを使い、砂を使った模擬体験を行いました。



◀先生の説明を真剣に聞いています



◀スクリューを使った模擬体験に挑戦